

遊工房アールスペース

年次報告

2023



youkoboART SPACE

# 目次

・はじめに — 新生遊工房のはじまり

・遊工房アートスペースについて — ヴィジョン、ヴァリュー、ミッション

## 1. 主要事業

1 - 1 AIR プログラム

1 - 2 スタジオプログラム

1 - 3 虚心坦懐

1 - 4 虚心坦懐 — その2 出版、イベントなど

## 2. 関連活動

・2023 年活動 Overview

はじめに

ー 新生遊工房アートスペースのはじまり

村田弘子・達彦、遊工房共同代表

1988年のアーティスト滞在受入の始まりから35年、遊工房のレジデンス・プログラムは、2020年当初に始まったCOVID-19によるパンデミックで止まってしまった。このパンデミックの3年間、東京オリンピック2020の1年遅れでの強行開催など不可思議なこの国の鎖国政策が解け始めた2022年春からの事業再開の試行錯誤を経て、2023年4月より遊工房アートスペースは、「新生遊工房」としての新たなスタート。30余年続けてきたレジデンス・プログラムは、当面停止とした。

3か所のスタジオで、其々独立した活動が始まった。

・スタジオ1：1階スペース（旧 Sutdio-3/Gallery） 代表：板津悟

遊工房にリトグラフ工房を開設、これまで深大寺の工房では多くのアーティストと制作してきたが、新しい善福寺の工房では、主に石版石を使いながらリトグラフを愛するアーティスト達が自ら制作する共同アトリエとしたい。

・スタジオ2：2階スペース（旧 Studio-2） 代表：郷治竜之介

画家仲間の東山詩織さんとの共同スタジオとして、制作とともに、企画を発表する表現の場していきたい。

・スタジオ3：別館1階ガレージ（旧 Studio-1） 代表：村田弘子

可能な限り海外のアーティストとの協働活動を行なう機会を継続したいと考えている。

一方、遊工房レジデンス 30年超の活動履歴のアーカイブ整理を通し、「なぜ AIR を始めたか?」、「AIR とは?」、「アーティストとは?」、さらに「若い次世代に期待する」を主旨とした絵巻「遊工房マンドラ」の具体的アーカイブ作業も遊工房に関連した若手作家達の協力も得ながら始まった。

2024年から3年間の本格作業として推進する計画である。

関係の皆さんには、これまでのご厚意に感謝申し上げますと共に、刷新後も引き続き宜しくお願い申し上げます。

## 遊工房アートスペースについて

アートは社会と一体の不可欠なものであり、人々の生活に潤いと気付きをもたらすものです。遊工房アートスペースは、独自のアート活動を通して、地域性と国際性、伝統文化と現代美術という一見異なる方向性を示す要素を繋ぎ、多様性が自然に受け入れられる場づくりや交流を実践しています。真侷に活動するアーティストの表現活動の支援と共に、地域社会の一員として、今後とも実践を通じたアート活動を継続していきます。

### ヴィジョン（実現したい未来）

遊工房アートスペースは、多様な創作活動に応える実践の場となることでアーティストを支え、アートの社会的な役割とその重要性を提示することを目指しています。

### バリュー(核となる価値観)

#### ・開放性と交流:

アートは広く開かれるものであると同時に、異文化の人々のコミュニケーションと理解を育てるために必要なツールであると考えます。

#### ・フレキシビリティ(柔軟性):

アートとアーティスト活動の本質に対して、私たちの活動はフレキシブルな取り組み方が不可欠であると認識します。

#### ・自律性:

コミュニティや他の組織と強固なネットワークを保つことを大切にしながら、アーティストと遊工房自身の個性と多様性を維持します。

### ミッション（果たすべき使命）

真摯に活動を続けるアーティストの創作・発表の活動を支援します。（AIR プログラム、ギャラリー・プログラム）国内外のアーティストの交流、さらに地域社会の人々との対話を通じた相互理解の醸成を図り、多様性が受け入れられる社会の形成を目指します。（アート・イベント、トーク）

他の AIR センターやアートスペースとのネットワークを築き、より多くの人々がアートを楽しめる環境づくりに努めます。（Res Artis、Microresidence Network、AIR Network Japan、AIR-J など）

人々がアートに接する様々な機会を生み出し、アートが社会にとって不可欠であるという認識を広まるよう努めます。

# 1 主要事業

## 1-1 AIR プログラム

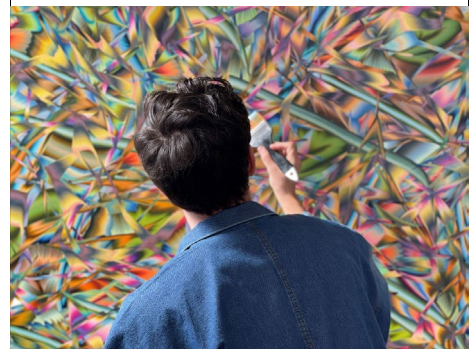
COVID-19 によるパンデミックの為に停止状態であった本プログラム（派遣・交換プログラム含む）は、2022 年 3 年ぶりの再開をしたが、2022 年度最終 2023 年 2 月・3 月の下記 1 件の受入をもって、当面の間休止とした。

2023.02.01 - 2023.03.31 クリントン・キングとジュリー・カーティス [US, France]

2023.02.01 - 2023.03.31

クリントン・キング と ジュリー・カーティス [US, France]

クリントンとジュリーは、遊工房レジデンス滞在中、絵画や彫刻を制作。クリントンは、この時期にマキ・ギャラリーでの展覧会も実現（2023.03.25-04.29）。滞在中、東京と共に関西での調査研究も実施、地元の探索も。

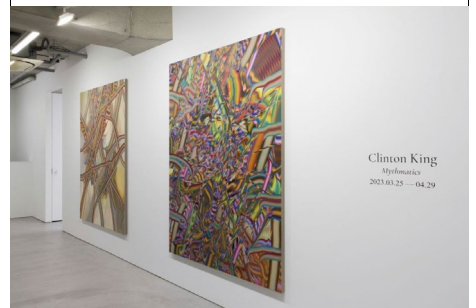


2023 年 3 月、Studio-2 にて

2023 年 3 月、レジデンス及びスタジオ両プログラム最後の作家達  
（右から、瑞麟、詩穂、ジュリー、クリントン、Studio-2 にて）

ジュリーとクリントンの滞在は、2006 年に 2 年間の長期滞在が始まり、直近では遊工房レジデンス運営 30 年周年を迎えた 2019 年の秋、YRP として再招聘した。その時の活動記録：アイデアの結晶化に向けて- Youkobo Returnee Residence Program, 第 3 弾 「回顧と展望 - 遊工房 30 周年—クリントン・キングとジュリー・カーチスと素晴らしいアーティストたち」

[https://www.youkobo.co.jp/news/JA\\_YRP2019.pdf](https://www.youkobo.co.jp/news/JA_YRP2019.pdf)



2023.03.25 - 2023.04.29

「Mythmatics」 Clinton King  
MAKI Gallery/表参道, 東京

## 1-2 スタジオ・プログラム

COVID-19によるパンデミックの3年間、本プログラムは在京作家中心に注意深く継続してきたが、2022年度期末（2023年3月）までで終了、2023年4月からの新年度より、「新生遊工房」として、作家の自律活動をベースとした独立した3つのスタジオ活動を始めた。

### ・従来のスタジオプログラム：2023年1月～3月の活動

2022.01.08 - 2023.03.31	遊工房マンダラ研究会 Youkobo Mandala（暫定）と公開対話会	旧 Studio-1
2022.09.01 - 2023.02.28	郷治竜之介 (LTYE2016 体験アーティスト)	旧 Studio-2
2023.03.01 - 2023.03.31	鷹取詩穂、郭瑞麟 [日本、中国] 東京藝大グローバルアートプラクティス (GAP) ユニット賞 2017年より始まったY-AIRプログラムの1つ、7年目で一応の終息。	旧 Gallery / Studio-3

### ・新生遊工房・スタジオプログラム：2023年4月からの活動

「2023年4月からの遊工房アートスペース」はじめに当たって：  
遊工房アートスペースは、3か所のスタジオで、其々独立した活動が始まります。また、30余年続けてきたレジデンス・プログラムは、当面停止となります。これまでのご厚意に感謝申し上げますと共に、刷新後も引き続き宜しく願い申し上げます。 遊工房・共同代表 村田弘子、村田達彦

スタジオ1：1階スペース（旧 Studio-3/Gallery） 代表：板津悟 [itazu33@gmail.com](mailto:itazu33@gmail.com)

「令和五年四月より遊工房にリトグラフ工房を開設することになりました。今まで深大寺の工房では多くのアーティストと制作してきましたが、新しい善福寺の工房では主に石版石を使いながらリトグラフを愛するアーティスト達が自ら制作する共同アトリエとしてスタートさせます。」

スタジオ2：2階スペース（旧 Studio-2） 代表：郷治竜之介 [goji.ry@gmail.com](mailto:goji.ry@gmail.com)

「長年にわたって多くのアーティストを支えてこられた遊工房の一室を、画家の東山詩織さんと共同スタジオとして使っていただくことになりました。制作場所として、また時に企画を発表する表現の現場として、今後もガタゴトと物音を立てていければと考えております。」

スタジオ3：別館1階（旧 Studio-1） 代表：村田弘子 [youkobohiroko@gmail.com](mailto:youkobohiroko@gmail.com)

「4月より、自身のスタジオ作業を行う中で、海外のクリエイターとの協働活動の機会も探っていきたいと考えています。」

2022. 01. 08 - 2023. 12. 31

「遊工房マンダラ」

Youkobo Mandala (暫定) と公開対話会

旧 Studio-1 → 2023/4 から Studio-3 に改称

2021年11月～12月開催の「アーティストの置き土産 Vol.1 & 2」(遊工房に滞在したアーティスト達のプレゼント作品の展示)と、この1988年から30数年間360人余りの滞在制作をした、アーティスト達が、アートを通して残してくれたもの、人との繋がり、生き方、考え方、気付き等々を想い紡いでまとめた1枚の表「遊工房マンダラ(暫定版)」の公開を継続した。来訪者との対話会を適時実施し、在京、滞在アーティスト相互のアートを通じた交流や繋がりを考え、レジデンス・プログラムの神髄を究める試みとなった。



Kasumi Iwama & Hikaru  
2023. 03. 31



Soulya Phoumivong, 2023. 03. 17



Knabako Family, 2023. 05. 15



JoshibiAIR, 2023. 11. 22



遊工房マンダラ準備室



Yang Chwn, 2023. 08. 31

ビデオ記録:「アーティストの置き土産」(遊工房マンダラを語る)

<https://vimeo.com/696402705>

2022. 09. 01 - 2023. 02. 28

郷治竜之介 (LYTE2016 体験アーティスト)

Studio-2

郷治竜之介、2016年のLYTE交換プログラムでの活動を背景にコロナ禍においてもロンドン・東京双方の作家とのオンライン交流を継続、2022年には2回に渡る日英若手作家のグループ展の開催を実施した。さらに、スタジオの空き状況を積極的に活用した、自身の創作活動も継続、新生遊工房でのスタジオ-2活用の代表としてつながる。



2023. 03. 26 - 2023. 03. 30

Studio-1 (旧 Gallery/Studio-3)

鷹取詩穂、郭瑞麟 [日本、中国]

「Pray ground」

芸大アートプラクティス(GAP)修士1年生の1ヶ月の遊工房スタジオでの制作、第6回目となる本年は、日本、香港、中国の3人が共に場を使い協働し、制作を行い、その成果発表を実施。:異なったバックグラウンドを持つ3人の視点から、Time(時間)という根源的なテーマについて解釈し、ドローイング、インスタレーション、映像から土まで、様々なメディアを扱った新作を展示した。

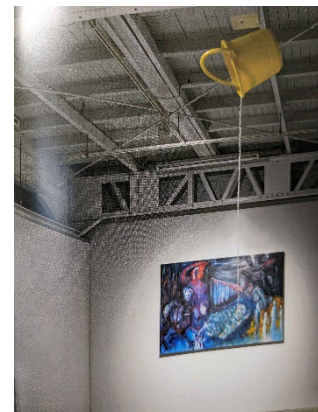
・関連イベント:クリティークセッション:李美那先生



「Pray ground」活動記録表紙

「Pray ground」記録データ:

[file:///C:/Users/youko/Dropbox/\\_macserver/youkobo-Activities/2023/GAP%237/unit%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%83%AD%E3%82%B0.pdf%20\(Unicode%20%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%89%E3%81%AE%E7%AB%B6%E5%90%88%2015\).cdownload.pdf](file:///C:/Users/youko/Dropbox/_macserver/youkobo-Activities/2023/GAP%237/unit%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%83%AD%E3%82%B0.pdf%20(Unicode%20%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%89%E3%81%AE%E7%AB%B6%E5%90%88%2015).cdownload.pdf)





2023. 04. 22 - 2023. 04. 30 遊工房オープンスタジオ

Studio-2

東山詩織

「盾、ハンカチ」

アーツカウンシル東京「スタートアップ助成」のオープンスタジオ



post card

盾、ハンカチ  
東山 詩織

2023年4月22日(土) - 30日(日)  
13:00 - 18:00 会期中無休

会場：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
（スタートアップ助成）

アーツカウンシル東京 スタートアップスペース  
〒167-0041 東京都杉並区新編り3-2-10 2階スタジオ4

2023. 07. 22 - 2023. 07. 31 遊工房オープンスタジオ

Studio-2

郷治龍之介

「rainforest」

アーツカウンシル東京「スタートアップ助成」のオープンスタジオ



Bill Wolf, 2023. 07. 27

郷治 龍之介  
rainforest

2023/7/22 - 7/29 (無休)  
13:00 - 18:00  
遊工房 スタートアップスペース  
〒167-0041  
東京都杉並区新編り3-2-10 2階スタジオ4

会場：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
（スタートアップ助成）



2023. 11/19 - 2023. 11. 23 遊工房オープスタジオ  
「善福寺石版画工房」

Studio-1

地域に根づく板津石版画スタジオ



Graham Ellard, 2023. 11. 19



Lisa & Haruka, 2023. 11. 22



Mario Caro & Machiko, 2023. 12. 10



2023. 11/19 - 2023. 11. 23 遊工房オープスタジオ  
川村そら  
「遊工房 NEOW マンダラ」

Studio-3

遊工房マンダラ準備室にて若手作家としてのAIR像を語る。



Graham Ellard, 2023. 11. 19



Artists, Joshibi AIR, 2023. 11. 22



### 1-3 虚心坦懐

— 2023 年にお出かけ頂いた方がたに感謝を込めて

- 2023.03.28 Clinton King & Julie Curtis, US, France :

<https://www.clintonkingart.com/> & <https://www.juliecurtiss.com/>

2006 年から 2 年間の滞在後、YRP 2019 で招聘。今回で遊工房最後のレジデンスとなるか？「コロナとその後を語る」



2023.03.28 @ Studio-3

- 2023.03.01 Elik Sille, Slovakia :

<http://www.eriksille.com/>

欧州文化首都・ECOC 2014 Kosce を機に現地の KAIR, Kosice Artist in Residence とのアーティスト交換プログラムの最初の受入作家 2014 年。その後二度の滞在経験も実施。「Kocice からようこそ！」Zuzana 夫人と Oskar 君（6 才）、コロナ禍明け早々に再来！



- 2023.03.17 Souliya Pournipon, Laos : JENESYS 2014 で遊工房滞在の若手アーティストの来訪。

「ASEAN Japan 50<sup>th</sup> Anniversary Forum in Tokyo」を機会に再来日。地元小学校との交流プログラム「アートキッズ」での活動記録の本人への返還は、ラオスでのアニメスタジオ新設の土産となった！

<https://www.elevationslaos.net/souliya-phoumivong/>



・2023.03.23 鷹取詩織 & Guo Ruilin : 芸大グローバルアートプラクティス ユニット賞 2022 作家  
GAP Unit 賞スタジオでの Workshop 重ね、最終的には「Pray Ground」として展示公開

<http://gap.geidai.ac.jp/2023/03/gap-unit-award-exhibition-2022-pray-ground%ef%bd%9c2022%e5%b9%b4%e5%ba%a6gap%e3%83%a6%e3%83%8b%e3%83%83%e3%83%88%e8%b3%9e%e5%b1%95%e3%80%8cpray-ground%e3%80%8d/>



・2023.03.28 遊工房ミニガーデンにてお花見交流会

滞在作家 (Clinton & Julie, 詩穂&Ruilin) 及び彼らの友人、金沢寿美、金井学、東山詩織ほか地元の方々など

・2023.03.31 岩間香純, Equator : 遊工房 2016 アーティスト、その後、遊工房での通訳・翻訳担当。  
現在は首都キト在、新生児「光ちゃん」と来日。直近の共同事業「AIR とコロナ」研究会活動報告のその後と共に遊工房マンダラを語る。

<https://www.kasumiiwama.com/>

・2023.04.08 Amanda Riffo, France, Iceland : 遊工房 2012 及び 2013 アーティスト  
高井戸での個展開催を機に再来。

<https://www.amandariffo.com/>



・2023.05;08 Daniel Gotten, Swiss : 遊工房 2007、2013 ほか関連プログラムで活動等々カ「gallery21yo-j」での個展「Space Constellation」を機会に来日、来訪。

<https://theartling.com/en/artist/daniel-gottin/?page=2>

連れ合いと共同運営のバーゼルの gallery “hebel 121” と共に広く国際展開も

<https://hebel121.ch/>



© gallery21yo-j

・2023.05.15 金箱淳一 : 遊工房 2010 アーティスト

三加夫人と長男の一家で来訪、神戸芸工大にて教鞭の傍ら、作家活動も充実（神戸在）

<http://www.kanejun.com/bio.html>



・2023.05.28 女子美・日沼研インターン体験者の集い

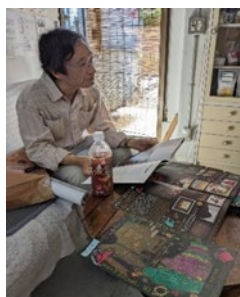
日沼禎子教授夫妻、辻真木子、大東美穂。その後のインターンシップ継続は、女子美 AIR にて・・・

<https://www.joshi.ac.jp/Artist-in-residence>



・2023.07.27 Willian Wolf, US: トロールの森 2007 & 2008 参加アーティスト(当時芸大修士留学生)  
現在はソールスベリー大での教鞭と共に作家活動を続けている。<https://www.billwolff.net/>  
2024年サバティカル取得機会に再来日、約束!  
<https://www.salisbury.edu/faculty-and-staff/wawolff>

・2023.07.30 ギャラリストの一杉徹 (Gallry Jin)  
[https://www.art-yuran.jp/2005/04/gallery\\_jin.html](https://www.art-yuran.jp/2005/04/gallery_jin.html)  
都美館で開催予定の荒木玉奈展(10月9日迄)のご案内をお届けくださいました。



・2023.08.14 Andrew Tetzlaff & Melissa, Australia, Artist and staff of RMIT, Melbourne  
2023.06 念願の PhD おめでとう! Melissa 夫人と来日。  
Y-AIR 東京・メルボルン計画のコロナ禍での停止、のその後の対応確認なども実施。メルボルン発信の  
Y-AIR 実践活動家、事例研究、東京でのフォーラム参画など大変お世話になりました。  
<https://andrewtetzlaff.com/>



・2023.0818 范钟鸣(ファン・ゾングミン), 馮瑗 feng yuan 夫妻: 藝大留学作家夫婦  
石版画工房へ。6年ぶりの再会。  
[http://www.yidaochn.com/artist/profile?artist\\_id=810#events](http://www.yidaochn.com/artist/profile?artist_id=810#events)



初対面の若いアーティスト泰楽さんも。

・2023.08.31 Young Chen 中国・在ロンドン：

遊工房 x studioName, Leicester との交換プロ 2019。近代日本美術史研究者, PhD 取得おめでとう！

“Exhibitionary Spaces in Japanese Art, 1860s-1970s: Models, Terminologies and Territories”  
「遊工房マンダラ」へのコメントも頂戴しました。

・2023.09.06 関浩司、レトロエンタープライズ（フィルム現像の何でも屋さん）。

<http://www.retro8.com/>



・2023.09.24 日沼禎子教授、Res Artis 2023 London 会合参加、金沢寿美個ロンドン展など。

Microresidence ACOSS(アルメニア)Mkrtich Tonoyan に再会の報も。国内から参加者おひとり・・・。

<https://resartis.org/res-artis-conferences/upcoming-conferences/london-2023/>

<https://dajf.org.uk/event/gallery-tour-erase-and-see-by-sumi-kanazawa-2>



・2023.10.06 Neal Malone 1990年代より何度も滞在、教え子の若手アーティスト滞在作家も多数。

[http://australia.or.jp/culture\\_old/en/events/view/420/Neil+Malone+solo+residency+exhibition++Living+winter+dreaming+spring+](http://australia.or.jp/culture_old/en/events/view/420/Neil+Malone+solo+residency+exhibition++Living+winter+dreaming+spring+)

<https://neilmalone.com/>



・2023.10.10 & 11 Antti Ylonen & Kaisa Keratar, Finland:

遊工房との兄弟 AIR, Art Break の共同代表夫妻。東京でのグループ展「土地との対話」by チーム LAAVU、工房・親にて開催を機に来訪。

2023.10.10: さいたま国際芸術祭 2023 ツアー。「女たちは生きている Woman's Lives」@ノースプラザ及び盆栽博物館を中心に。



2023.10.11: 「遊工房マンドラ」インタビュー第1回実施（加藤巧全面協力）YRP #4 として実施



施記録: [https://drive.google.com/drive/folders/1yEIXpRi4sJNCpL\\_BfHYovzxNXSeE8b8-](https://drive.google.com/drive/folders/1yEIXpRi4sJNCpL_BfHYovzxNXSeE8b8-)  
記録集: 未

・2023/10.14 金沢寿美, 遊工房アーティスト、トロールの森、横浜交流プログラムほか  
ロンドンレジデンス（デルフィナ財団）帰国報告

<https://www.sumi-kanazawa.com/>

<https://president.jp/articles/photo/61472?pn=4>



Artist Talk: Sumi Kanazawa in conversation with Jonathan Watkins [https://www.youtube.com/watch?v=\\_zAfCf\\_5FT8](https://www.youtube.com/watch?v=_zAfCf_5FT8)



・2023.10.16 ももし小・町探検隊小2年有志5人「新生遊工房」訪問

Studio-1にて板津悟さんとアーティストのスタジオについて、隊員児童と教官へ解説、体験なども…



2023.10.18 中村メザー美香、遊工房 2017 アーティスト、トロールの森 2017  
中之条ビエンナーレ 2023 も参加、カール夫君と来訪。

<https://nakanojo-biennale.com/artist/mika-nakamura-mather>



・2023.11.19 Graham Ellard ロンドン・東京 Y-AIR 交換プログラムロンドン側責任者、CSM 校教授  
東京藝大での研究滞在機に来訪、交換プログラムの終結確認とネットワーク活動維持を!。

<https://researchers.arts.ac.uk/298-graham-ellard>

<http://www.doubleagents.org.uk/>



・2023. 11. 22 女子美 AIR2023 滞在アーティスト、Lisa さん、AIR コーディネータ・山田遥さんと。  
女子美 AIR2 年目展開無事、Lisa さん女子美との提携校の縁でウイーンからの研究滞在。  
AIR 体験活動自体を PhD テーマとのこと。どんなまとまりとなるか期待・・・。

<https://itn.joshiu.ac.jp/international/artistinresidence/>

<https://lisagrosskopf.net/>

・2023. 12. 10 原田真千子、Mario Caro & Malsel 君来訪

ResArts2012 東京での Microresidence をテーマのセッションのモデレータをお願いした真千子さんとの縁、当時の ResArts 理事長・マリオと副理事長・達彦のチームワークが懐かしい。  
今はニューメキシコで教鞭取る。息子も中学生だ。

[https://artscape.jp/artscape/exhibition/focus/2007\\_harada.html](https://artscape.jp/artscape/exhibition/focus/2007_harada.html)

<https://iaia.academia.edu/MarioCaro/>

・2023. 12. 22 小寺夕湖来訪

久々の来訪、来訪。父親の一周忌で来日。

[https://www.youkobo.co.jp/en/related\\_activities/gip.html](https://www.youkobo.co.jp/en/related_activities/gip.html)



### 1-3 虚心坦懐 —その2 出版、イベントなど

2023. 05. 10 「アーティスト・イン・レジデンス—まち・人・アートをつなぐポテンシャル」

菅野幸子・日沼禎子共編の書籍出版、美学出版より。

遊工房は2章を共同執筆参画させて頂きました。「AIR ケース・スタディ」の章、4節「マイクロレジデンス」村田達彦、9節「大学とAIR ② Y-AIR-Artist in Residence for young」辻真木子

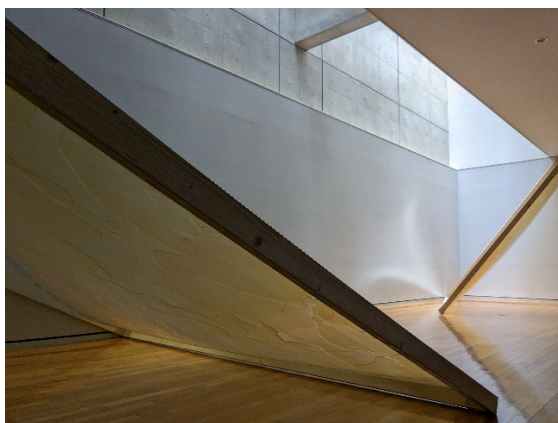


ISBN978-4-902078-77-0 C0070

・ 2023. 06. 07-06. 09 鎌倉滞在：湘南海岸で初夏の一休み・・・。

06. 07 茅ヶ崎美術館開館 25 周年記念展「渉るあいだに佇む—美術館があるということ」展 鶴飼美紀ほか展示。

06. 08 神奈川県近美・葉山館「生誕 110 年・傑作誕生・佐藤忠良展」



「共有する範囲について」 鶴飼美紀



旧瑚南院第 1 病舎、茅ヶ崎海岸

・2023. 06. 19-06. 24 愛知県常滑滞在：村田家代々の墓じまい確認ツアーを機会に

06. 19 木村石材の案内で、「天澤院」、「総心寺」を周り、その後川村ソラ君案内で「とこなめ陶の森・資料館」（常滑焼のすべてがわかる資料館、陶芸研究所と研修工房併設）と、川村ソラ陶芸スタジオ訪問も。

06. 24 清須市はるひ美術館・加藤恵学芸員ご挨拶、「栗田義夫：耕す彫刻」鑑賞



1900年代の常滑の陶画地図@神明社



羽豆岬@羽豆神社（足腰健康の守り）からの景観

・2023. 07. 17 「遊工房マンダラ」具体化検討会合 by online

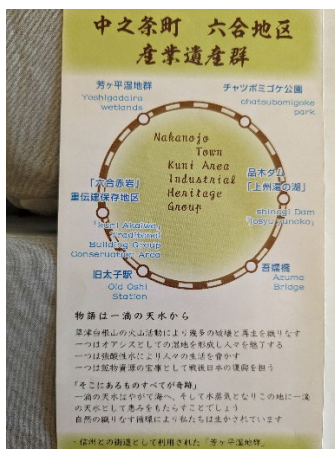
田口かおりさん囲み、そのビジョンと2, 3年掛けた計画の具体化を進めるべく助言頂く。金井学、加藤巧両氏の遊工房アーティストの力強い支援を得た貴重な場となった。

・2023. 09. 19-09. 21 「中之条ビエンナーレ 2023」ツアーと共に東吾妻、岩櫃にて休養。

09. 19：山重徹夫・総合ディレクタにご挨拶、出展作家・森健太郎、長坂絵夢と現地にて再会など。

絵夢さん、六合エリア・旧太子駅での「鉄、蘇る山」の展示、お疲れさま。続きも期待！  
終戦直後の日本の現実に思いをはせる・・・。

09. 21：「中之条町歴史と民族の博物館」、「悲運の天才・小栗上野介」の史実、上州群馬の「ものづくり」スピリッツの魂をみた。



旧太子駅



三梨伸



中村美香



サブリーナ・ホーラック

・ 2023.10.04 : 「土地のと対話 Dialog With Land」展へ

Antti & Kaisa and 千葉奈穂子の3人による Artistic team LAAVU

2023.10.04-10.15 の間、東京・恵比寿の工房親で開催

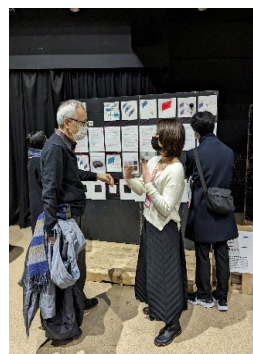


KOBO CHIKA Gallery LAAVU 展

アーティストトーク [https://www.youtube.com/watch?v=CD\\_q9bEfiF4](https://www.youtube.com/watch?v=CD_q9bEfiF4)

023. 12. 26 年の終わりに : 東大駒場「ファンダメンタルズ」展へ

加藤巧、椛田ちひろ両氏の科学者とのコラボ成果発表。



私達2人は、エンジニア出身の学芸員と、彫刻家出身の世話役で、アート事業「Youkobo AIR」実践を1988から始めていました・・・。「遊工房マンダラ」にご期待を！

2023年大晦日

## 2. 関連活動

これまでの関連活動の整理を通し、遊工房活動の原点、アーティストにとってのスタジオ、そしてレジデンスの神髄を考える「遊工房マンダラ」プロジェクトについての概要は以下の通り。

遊工房アートスペースは、国内外のアーティストが一定期間滞在しながら制作する、アーティスト・イン・レジデンス (AIR) と、在京作家向けスタジオや、作品を展示・発表する非営利ギャラリーを主たる事業とし、同時に、芸術文化を通じた地域活動を推進している。アーティストの自立的な活動の支援を通し、多くの方がたに芸術文化を身近に体験できる機会と親しんで頂く場を提供。多様な創作活動に応える実践の場となるようアーティストを支え、社会的な役割とその重要性を提示することを運営のビジョンとしている。

### ・日頃取り組んでいる調査・研究活動のテーマや主な関心事、遊工房が大切にしてきたこと：

- ① Y-AIRの実践：国内外大学との協働
- ② AIRの社会的位置：地域の中での協働
- ③ アーティストの活動の円滑化への努力：情報提供、協力者探し、材料調達他。

AIRの役割と責任とは何かを常に考え、アーティスト活動支援を実践している。

### ・過去の研究実績：

活動の実践を通して、折々の機会で開催し、広く関係部門との情報共有、活動の改善、普及の公開トーク、報告書による広報を行っている。また、2017年より、遊工房レジデンス運営30年を機に、レジデンスの神髄をさぐる活動として、「アイデアの結晶化に向けて-Youkobo Returnee Residence Program, YRP」として、これまでの滞在体験アーティスト・研究者の中から再・招へいを行い、レジデンス体験のもたらす価値、レジデンスの評価などを確認する試みを開始した。

[https://www.youkobo.co.jp/news/EN\\_YRP2019.pdf](https://www.youkobo.co.jp/news/EN_YRP2019.pdf)

<https://www.youkobo.co.jp/en/news/2019/05/yrp2.html>

<https://www.youkobo.co.jp/en/news/2018/03/report-by-david.html>

2020年コロナ禍でのパンデミック期間中のレジデンス運営は止ったが、30余年にわたる活動の集積（作品、資料、報告書など）の整理をベースにアーカイブ作業に取り組み始めた。収蔵品展「レジデンスアーティストの置土産」の開催と共に、活動クロニクルの可視化に取り組み、「遊工房マンダラ（仮称）」を作成・公開、関係者との議論も進み、遊工房マンダラのより良い可視化の方法を検討中である。

<https://vimeo.com/user71493372>

尚、パンデミック禍でのレジデンス運営者、レジデンス活用アーティスト・研究者への緊急アンケート調査を実施し、国内外機関への情報共有も図った。

<https://www.youkobo.co.jp/en/news/2021/03/air2020.html>

### ・現在の活動内容

遊工房マンダラ計画の一環として、アーカイブ作業を継続的に実施し、各種データのデジタル化の準備作業中である。また、コロナ後の具体的な活動フォローとして、レジデンス運営者、レジデンス体験アーティストを中心に、適時インタビューや対話会などを実施し、記録化を進めている。

## ・今後の研究計画

レジデンス体験とレジデンス運営実践の両面から収集できる新たな活動を「遊工房マンダラ」として可視化、ドキュメント化を進め、レジデンス活動の一層の普及、美大教育との協働から生まれる可能性を紐解くシナリオ構築などに発展させたい。この実践活動は2023～2025年。記録書籍出版は2025年を目指している。「遊工房マンダラ」の可視化として、遊工房クロニクルのアート作品化、アイデアの結晶化に向けてYRPプログラム再開などによるレジデンス活動評価の可視化なども始める計画である。


### 遊工房クロニクル 2021.03.31時点




Youkobo Art Space 2023 Overview

Space Description					2023											
			until MAR	after APR	JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC
Youkobo Art Space	Building -1	1F	Studio-3 / Gallery	Studio-1	Ryunosuke Goji		GAP	Itazu Lithograph Workshop								
		2F	Studio-2	Studio-2		Clinton King & Julie Curtiss	Share Studio: Ryunosuke Goji & Shiori Higashiyama									
			Residence-2													
	Building -2	1F	Studio -1	Studio-3	Youkobo Mandala and documents with open talk											
			Residence-1	Closed.	no use for AIR program											
		2F	Residence-3													
Outside Youkobo	MAKI Gallery						Clinton Solo									
	Zempukuji Park							Trolls							Trolls	

AIR Program   
 ARCHIVE 

Studio Program 

Exhibition Program 

Title of Space changed after April: former Studio-3/Gallery→Studio-1 / Studio-2, no change / former Studio-1→Studio-3

GAP: Selected young artist group of the Global Art Practice course, a master course in TUA since 2015.

Youkobo Mandala: A panorama depicting exchanges with Youkobo residents over the past 35 years, based on the Youkobo archives.

Trolls: 'Trolls in the Park', Open Art Exhibition at Zempukuji Park, near Youkobo, Trolls in the Park 2023 as 22<sup>nd</sup> and Trolls Haru as 18<sup>th</sup> anniversary in 2023.